

高槻市野球連盟 少年野球大会規程

1. 本大会は、当該年度公認野球規則、並びに全日本軟式野球連盟規程により行う。
2. チームは次のものとする。

(少年の部)市内あるいは近隣地域、隣接都道府県に居住する中学生で構成されたチーム。

(学童の部)市内あるいは近隣地域に居住する小学生で構成されたチーム。

いずれも、監督 1 名、コーチ 2 名以内、選手 9 名以上 25 名以内で編成しなければならない。但し、監督、コーチは 18 歳以上でなければならない。
3. 同一の監督が 2 チーム以上の監督を兼ねることはできない。選手は 1 名 1 チームしか登録できない。但し、「学童二部」選手を「学童一部」選手に二重に登録することは認められる。
4. 大会でベンチに入れる人員は、監督(背番号 30 番)、コーチ(29 番、28 番)、主将(10 番)を含む選手(0~99 番)及びチーム代表者、スコアラー、トレーナー(有資格者)の各 1 名とする。熱中症対策として、保護者 2 名までベンチに入ることができる。
5. 試合は毎土曜日、日曜日、祝日に行う。
6. チームは、試合開始 60 分前までに球場に到着し、直ちに大会本部に到着の旨を報告すること。試合開始予定時刻に到着しないチーム、または選手が 9 名に満たないチームは棄権扱いとする。ベンチは、組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。
7. 打順表は、開始予定時刻の 30 分前までに監督が大会本部に提出し、球審立ち合いのもと攻守を決定する。次の試合の先発バッテリーは、攻守決定後、競技場内のブルペンを使用することができる。
8. 試合は、少年の部は 7 回戦、学童一部は 6 回戦とするが、暗黒、降雨などでイニングが進まない場合、5 回を終了すれば試合は成立する。

健康維持を考慮し、5 回終了前であっても試合開始後 1 時間 20 分経過した場合は、新しいイニングに入らない。均等回完了をもって試合を決する。

学童二部は 5 回戦とする。

同様に、試合開始後 1 時間経過した場合は、新しいイニングに入らない。均等回完了をもって試合を決する。

少年の部、学童一部において 3 回以降 10 点差、5 回以降 7 点差、学童二部において 3 回以降 10 点差がついた場合、コールドゲームを適用する。
9. 少年の部 7 回戦あるいは 1 時間 20 分経過、学童一部 6 回戦あるいは 1 時間 20 分経過、学童二部 5 回戦あるいは 1 時間経過しても勝敗の決しないときは、抽選にて勝敗を決する。
10. 優勝戦に限り、コールドゲームを適用しない。優勝戦において勝敗の決しないときは、タイブレーク方式を取り入れる。継続打順で前回の最終打者を一塁走者、その前の打者

高槻市野球連盟 少年野球大会規程

を二塁走者とする。すなわち、0 アウト一塁・二塁の状態にして、投手の投球制限を遵守の上、1 イニングのみ行う。それでも勝敗を決しない場合は抽選にて勝敗を決する。

11. 選手の肘、肩の障害予防として、一人の投手が 1 日に投球できる数は下記の取り扱いとする。

① 少年の部

1 試合かつ 1 日の投球数は 100 球以内。タイブレークになった場合、1 日の規定投球数以内で投球できる。

② 学童一部

1 試合かつ 1 日の投球数は 70 球以内。タイブレークになった場合、1 日の規定投球数以内で投球できる。

③ 学童二部

1 試合かつ 1 日の投球数は 60 球以内。タイブレークになった場合、1 日の規定投球数以内で投球できる。

試合中規定投球数に達した場合、その打者の打撃中に攻守交代となるか、打撃を完了するまで投球できる。

ボーグにもかかわらず投球したものは、投球数に数える。

12. 本大会においては、指名打者ルールを使用することができる。但し、二刀流選手を採用しない。

13. 抗議権を有する者は、監督が当該プレーヤーのいずれか 1 名とする。

14. 大会中不正チームがあったときは

① 試合中は開いてチームを勝ちとし、不正チームは失格とする。

② 試合後は次の相手チームを勝ちとし、不正チームを失格とする。

但し、上記は相手チームの申出により当連盟審判部が判定する。

審判部は規律保持のため必要と認めた時は、上記の申出がない場合でも判定することができる。

尚、大会に於いて、試合中参加資格規定、並びにアマチュア規定違反に関する抗議があった場合は当連盟審判部規定により処理する。

15. 監督は、野球規則 4.02 並びに定義 49 を理解し、監督の責任を遂行すること。

特に、自らのチームや選手の出場資格、並びに応援団の出来事については責任を持つこと。

相手チームへの汚いヤジ、或いは審判員に対する発言等については厳に慎むこと。

16. 以上の規定の他、特異な事情については、球場責任者、審判員が協議の上決定する。

17. 監督が 1 試合に投手のもとへ行ける回数は 3 回以内とする。尚、タイブレーク中は 1 イ

高槻市野球連盟 少年野球大会規程

ニングに 1 回行くことができる。但し、投手交代の場合は回数に含まない。

攻撃側のタイムは、1 試合に 3 回以内とする。尚、タイブレーク中は 1 イニングに 1 回とする。

打者は速やかにバッタースボックスに入ること。また、バッタースボックス内でベンチ等からのサインを見ること。

18. マナーアップとフェアプレイの両面から、次のような行為を禁止する。

- ① 捕手が投球を受けたときに意図的にボールをストライクに見せようとミットを動かす行為
- ② プレイ中みだりにベンチを出る行為
- ③ 投手が投手板に触れて投球位置についたら、投手の動揺を誘うような大きな声を発しないこと
- ④ ベンチ内の大人からの選手を委縮させるような言動

19. 監督主將会議での抽選後の試合日程は、「高槻市野球連盟」ホームページの掲示内容を参照のこと。

平成 28 年 9 月	一部改正
平成 29 年 1 月	一部改正
令和 6 年 8 月 4 日	一部改正
令和 8 年 1 月	一部改正